Architectural Institute of Japan

した。建物と宿役負担の関係などを明らかにした。高山では，江戸時代初期の検地の敷地割りを基礎として，それが今日に至っていることや，江戸時代後期の建築活動の制限について考察した。

三地区の考察から，歴史的環境地区では，1町を建設した当初の敷地割を，今日まで基本的には受け継いでいること，2建物の新築・改築などに法制上や慣習として制限があり，建物を均質にしている，の結論を得た。この二点だけが歴史的環境地区の特性ではないが，重要な特性であると位置づけた。（名古屋大学）

▶近畿地方における町家形式の発展と町並の構成に関する史的研究—歴史的町並史研究　序説—

大場修・京都府立大学生活科学部住居学科

本研究は，近畿地方（龍野・篠山・園部・福知山の各旧城下町，枚方旧宿場町，斑鳩町龍田を中心とする奈良盆地の主要な町家群など）の町家および歴史的町並を取り上げ，町家の建築的特質や発展過程を農家との関係を踏まえつつ検討するとともに，その集合体である町並の構成を論じた。論文は大きく3編で構成される。まず，近世町家の祖形式の形成と農家との関係を求め，その後の発展過程における町家形式の確立過程を検討した（第1編）。次に，町家形式の形成過程について，その規定要因である町屋敷地の形態や地理的，風土的条件に着目した検討を，発掘遺構も援用しつつ行った（第2編）。さらに町家を単位とする町並の建築構成について，現存遺構と文献史料とを併用照合させることにより近世に遡って復原的に考察した（第3編）。これらの結果を総合し，先行研究の成果を含めて，近畿地方における近世町家形式の特質と町並の変容過程を明らかにし，結論とした。（大阪工業大学）

▶ネパールの王宮における中庭建築の復原的研究

黒津高行・日本工業大学建築技術研究センター

本研究は，ネパールの建築を代表する王宮における中庭建築（チョク建築）について，その成立過程および建築の特質を明らかにしたものである。

ネパールの王宮建築は，ムール・チョク，スンダラ・チョクなど，チョク建築を主要な構成要素とする複合体である。チョク建築は，14世紀初めのタレジュ信仰導入とともに，王家の守護神を祀る空間としてムール・チョクが，王自身のヒンドゥー宇宙を具現する空間としてスンダラ・チョクが設けられた。各チョク建築には，独自の機能と建築空間を充足させる構造として，宗教性が高い仏教僧院の平面構造を採用し，伝統的な測定単位を用いて平面計画された。設計には，歴史的な背景を持つ設計概念が用いられた。17世紀半ばの3王国分立時代後のマッラ王朝には，王宮建築としての完成した形式が成立している。その後，18世紀後半のシャハ王朝初期に変容し，現在の形式に至っている。（日本工業大学）

▶東南アジアおよび日本における華人町の形成史に関する研究

黄俊銘・東京大学生産技術研究所

本研究は，東南アジアおよび日本における海外の中国人（華人）の町の形成の過程を明らかにすることを目的とする。バンコク，ペナン，クアラルンプール，マラッカ，シンガポール，ジャカルタ，マニラ，長崎，神戸，横浜などの都市における華人の町の史的考察である。よって，華人の町を形成した背景，また，それらの町の建設の計画と建築物の実態を解明するものである。本文は8章からなる。

1. 本研究の視点
2. 現地政権下の華人町
3. 欧美勢力下の華人町（1）：ポルトガルとスペインの場合
4. 欧美勢力下の華人町（2）：オランダの場合
5. 欧美勢力下の華人町（3）：イギリスの場合
6. 日本の開港地における華人町
7. 華人町景観の造成：ショップハウス連続アーケードの法的系譜
8. 華人町の形態論

（東京大学）

▶ Man, Media, Architecture : Actors in the Spatiotemporal Dynamization of a Built Environment—The Case of Tokyo (1590-1990)—

Jean-Luc Capron・東京大学工学部建築学科

1590年の江戸から1990年の東京に到るまでの，都市建築と都市空間を対象とした，その意味に関する研究。特に，構築物の「情報メディア」としての性格に注目し，記号論者A. J. Greimasが確立したcomunication-actual modelにおけるactor（アクター）の概念を基本に具体的分析を行い，東京の市街地の時空間的力動化を，次の四段階に分けている。

第一段階　「暖簾」「提灯」が象徴
昼一夜，仕事一休息という反復型の時間的対を含む

第二段階　「ネオンサイン」が象徴
夜通し知覚でき時空間的定着を可能にする

第三段階　「建築化した大画面」が象徴
場所，時代等，時空間において可能な全てを包む

第四段階　「大画面の付いた飛行船」が象徴
可動性が加えられ，今日における最も完全な状態

最後に，市街地の時空間的力動化は，人間，メディア，建築といったactorsを巻き込み系統付け，新しい都市構造を生み出すとしている。

以上，旧来注目が少なかった，都市建築のメディアとしての特性を捉え，新たな視点を示した。建築形態が，社会的，都市的に持たざるを得ない一面的効果が，ますます肥大して来る状況において，それを歴史的に整理してみせた先駆性を示している。（東京大学）

▶東北地方における民家の構法変容からみた自然災害への適応過程に関する研究—雪・風・地震を中心にして—

月舘敏栄・八戸工業大学建築工学科

本研究は，東北地方の民家における扠首組・軸組・軒組の構造特性を解析し，自然災害—特に雪・風・地震—が特徴的構法を持つ民家の形成要因となったことを解明しようとしたものである。

第1章では，東北地方の民家の構法，気候および自然災害の特徴と歴史を述べ，特徴的構法の民家，自然災害の分布地域を研究対象に選定した。第2章には，各地の民家の構法，生活，家作禁令，災害の特徴を述べた。第3章では，生活，家作禁令，自然災害と扠首組・軸組・軒組の変容の関係を分析し，自然災害が大きな影響を及ぼしたことを示した。第4章では，扠首組・軸組・軒組に対する雪・風・地震の影響を解析し，特徴的構法が力学的にみても合理的であることを明らかにした。第5章では自然災害の規模・頻度・突発性に適応して特徴的構法を持つ民家が発達したことを指摘し，自然災害が民家の構法変容の要因になったことを述べた。（東北大学）

▶北京四合院の住環境特性に関する研究—京都との比較視点から—

傅克誠・北京清華大学建築学部

本論文は，中国北京の清時代都市とその主なる構成要素であった四合院式住居に着目し，形成要因の歴史的分析，平面形式の類型化ならびに人々の生活行動の追跡などを通じて，その住環境特性を多面的に考察したものである。併せて，日本の伝統的住居形式の一つである京都の町並みと町屋に，同じ研究手法を適用し，日中の住居の形式とその文化的意味について比較検討を試みている。本論文は四部で構成されている。第一部「序論」では研究の動機，目的，方法を述べている。第二部「歴史の概説」は，北京と京都の町並み，住居形式とその形成の要因考察を行っている。第三部「生活領域」では，北京における各階層の生活実態を都市および住宅のレベルで考察したものである。第四部「住環境の特性の比較」は，前三部までで得られた北京と京都の町並み，住宅を住環境として捉え，更に平面構造，グラフ理論と心理学の理論的な検討をしている。本論文は，史的な，体系的な研究である。（東京大学）

▶ PHILIPPINE ARCHITECTURE FROM THE 1900s TO THE 1960s（1900年代から1960年代に至るフィリピン建築史の研究）

FRANCIS SIA YU 日産建設(株)開発本部コンセプト・デザイン室

当論文は20世紀のフィリピン建築史の記述を第一の目的とし，歴史意識を通して，フィリピン建築のアイデンティティの確立を試みた。4年間に文献資料の発掘，インタビュー，現存建築の調査から作成した当論文は，アメリカ時代や独立後初期を詳細に扱った初めての研究であり，今後の研究資料ともなりうる。

論文の構成としては，フィリピンにおける米国人建築家（1905-1918年），リヴァイヴァルスタイル（1913年-），近代様式（1924年-），大戦中（1942-1945年），そしてインターナショナルスタイル（1945年-）の五つの時代に分けてフィリピン建築の発展と様式変化を論じ，住宅建築，建築教育，建築士協会，建築家世代分類という特別課題をも論じた。Appendixには初期フィリピン人建築家と建築について初めての総覧を設けた。

結論では，フィリピンにおける建築の明確な発展パターンと同時に，フィリピン人建築家と社会と文化の関連を論じた。（東京大学）

▶フランチェスコ・ディ・ジョルジョ研究

松本静夫・福山大学工学部建築学科

本論文は，15世紀のイタリアの建築家であり技術者であり画家でもあったフランチェスコ・ディ・ジョルジョ・マルティーニの建築都市論について，古代ローマの建築理論家ウィトルーウィウスやジョルジョに先行するアルベルティやフィラレーテらの建築書と対比しながら，彼の建築理論と思想をあきらかにし，さらに彼の建築作品との関連づけを試みた論文である。まず，彼の手稿の年代的位置づけと分類を行い，彼の理論におけるキーワードとみられるl'arte antigraficaという語の解釈を試み，disegnoという基盤のうえでものごとの本質を理解するための〈術〉であると解釈して

NII-Electronic Library Service